

## ヒータコントローラ FCN, FCH 温度調節器の初期設定

この資料の赤字の項目以外で、これらの設定に関連する項目は温度調節器の初期値である必要があります。  
詳細は温度調節器の説明書を参照ください。

### ①熱電対の種類と温度レンジ → 「K, 0~1200°C」 [Para] 2秒 x2回

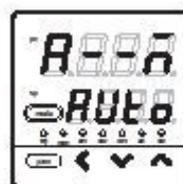
#### 第5章 運転前の設定

### 5 - 1 PV入力

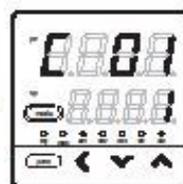
PV入力のPVレンジ種類、温度単位、小数点位置、PVレンジ下限・上限を設定します。  
形番の入力種類 (T:熱電対, R:測温抵抗体, L:直流電流・直流電圧) やPVレンジ種類によっては設定できない項目があります。

#### ■ PVレンジ種類の設定

- ① 運転表示で、[para]キーを2s以上押し続けてください。  
》パラメータ設定状態になります。



- ② パラメータ設定表示で、[para]キーを2s以上押し続けてください。  
》セットアップ設定表示になり、セットアップ設定「C01: PVレンジ種類」を最初に表示します。



- ③ [<]・[V]・[A]キーを押して、希望のC01番号にしてください。  
「C01」の設定値を次の入力レンジ表から選んだレンジ番号にしてください。  
》レンジ番号がフラッシング（点滅）します。  
》キーを押さずに2s以上たつと、数値のフラッシングが止まり、設定値が確定します。
- ④ [mode]キーを押してください。  
》運転表示に戻ります。

●PVレンジ表 (熱電対)

C01 設定値	センサ タイプ	レンジ	C04 表示	C04 範囲	C01設定時 C04初期値
1	K	-200 ~+1200℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
2	K	0 ~ 1200℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
3	K	0 ~ 800℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
4	K	0 ~ 600℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
5	K	0 ~ 400℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
6	K	-200 ~+400℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
9	J	0 ~ 800℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
10	J	0 ~ 600℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
11	J	-200 ~+400℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
13	E	0 ~ 600℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
14	T	-200 ~+400℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
15	R	0 ~ 1600℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
16	S	0 ~ 1600℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
17	B	0 ~ 1800℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
18	N	0 ~ 1300℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
19	PL II	0 ~ 1300℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
20	WRe5-26	0 ~ 1400℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
21	WRe5-26	0 ~ 2300℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
24	DIN U	-200 ~+400℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
25	DIN L	-100 ~+800℃	-	(設定不可)	(小数点なし)



●PVレンジ表 (測温抵抗体)

C01 設定値	センサ タイプ	レンジ	C04 表示	C04 範囲	C01設定時 C04初期値
41	Pt100	-200 ~+500℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
42	JPt100	-200 ~+500℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
43	Pt100	-200 ~+200℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
44	JPt100	-200 ~+200℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
45	Pt100	-100 ~+300℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
46	JPt100	-100 ~+300℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
51	Pt100	-50.0 ~+200.0℃	○	0~1	1
52	JPt100	-50.0 ~+200.0℃	○	0~1	1
53	Pt100	-50.0 ~+100.0℃	○	0~1	1
54	JPt100	-50.0 ~+100.0℃	○	0~1	1
63	Pt100	0.0 ~ 200.0℃	○	0~1	1
64	JPt100	0.0 ~ 200.0℃	○	0~1	1
67	Pt100	0 ~ 500℃	-	(設定不可)	(小数点なし)
68	JPt100	0 ~ 500℃	-	(設定不可)	(小数点なし)

(注1)B熱電対の精度は260℃以下±5%FS、260~800℃±1%FSで、指示値下限は20℃です。ただし、計器情報バンクのROMバージョン1(d02)が「2.04」以前の場合、指示値下限は-180℃です。

(注2)PL II熱電対は2003年7月以降製造分から追加したレンジです。

●PVレンジ表 (直流電圧・直流電流)

C01 設定値	センサタイプ	レンジ(C05、C06)	C04 表示	C04 範囲	C01設定時 C04初期値
84	0~1V	-1999~+9999の範囲でスケールリング C01設定変更時に0~1000に初期化	○	0~3	変更なし
86	1~5V		○	0~3	変更なし
87	0~5V		○	0~3	変更なし
88	0~10V		○	0~3	変更なし
89	0~20mA		○	0~3	変更なし
90	4~20mA		○	0~3	変更なし

**E** 取扱い上の注意

- ・レンジ番号を設定すると、初期値として表のように小数点位置とレンジ範囲が設定されます。小数点位置に関する詳細はセットアップC04(小数点位置)を参照してください。
- ・各PVレンジ種類の精度は、  
 **第11章 仕様 (11-1ページ)** をご覧ください。

## 5 - 2 制 御

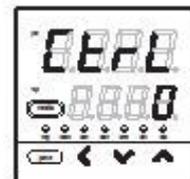
制御方式、制御動作(正逆)、加熱冷却制御選択、加熱冷却制御不感帯を設定します。

### ■ 制御方式の設定

- ①運転表示で、[para]キーを2s以上押し続けてください。  
} パラメータ設定表示になります。



- ②[para]キーを何回か押し、パラメータ設定「Ctrl:制御方式」を表示させてください。  
} 「制御方式」選択状態になります。



- ③[<]・[V]・[^]キーを押し、「Ctrl」の設定値を下記から選んだ値にしてください。

- 0 : ON/OFF制御
- 1 : PID固定
- ➔ 2 : ST(セルフチューニング)

} キーを押さずに2s以上たつと、数値のフラッシングが止まり、設定値が確定します。

- ④[mode]キーを押すと、運転表示に戻ります。

#### ⓘ 取扱い上の注意

ST(セルフチューニング)を使用する場合、

- ➔ 8-2 ST(セルフチューニング)機能(8-4ページ)、
- 8-3 ST(セルフチューニング)使用上の注意について(8-6ページ)をご覧ください。

③表示レベル → 「多機能レベル」 [Para] 2秒 x2回 → [Para]数回

第6章 表示・設定データ一覧表

表示	項目	内容	初期値	表示レベル	備考
75	操作量表示設定	基本表示の表示有無を下記の重み付けの和で決める ビット0: MV表示 なし: 0、あり: +1 ビット1: 加熱MV/冷却MV表示 なし: 0、あり: +2 ビット3: AT進捗表示 なし: 0、あり: +8 その他無効な設定 0、+4	15	1	
76	イベント設定値表示設定	0: 運転表示に内部イベント設定値を表示しない 1: 運転表示に内部イベント1設定値を表示する 2: 運転表示に内部イベント1~2設定値を表示する 3: 運転表示に内部イベント1~3設定値を表示する	0	1	
77	イベント残り時間表示設定	0: 運転表示に内部イベントのON/OFFディレイ残り時間を表示しない 1: 運転表示に内部イベント1のON/OFFディレイ残り時間を表示する 2: 運転表示に内部イベント1~2のON/OFFディレイ残り時間を表示する 3: 運転表示に内部イベント1~3のON/OFFディレイ残り時間を表示する	0	1	
78	CT電流値表示設定	0: 運転表示にCTの電流値を表示しない 1: 運転表示にCT1電流値を表示する 2: 運転表示にCT1~2電流値を表示する	1	1	
79	表示レベル	0: 簡単設定 1: 標準設定 2: 多機能設定	0	0	
80	LEDモニタ	0: 使用しない 1: RS-485通信送信時点減 2: RS-485通信受信時点減 3: 全DI状態のOR(論理和) 4: READY時点減	0	2	
90	CT1ターン数	0: 800ターン 1~40: CTのターン数を100で割った値	8	2	オプション形番がカレントトランス入力2点ありの場合、表示
91	CT1電力線貫通回数	0: 1回 1~6: 回数	1	2	
92	CT2ターン数	0: 800ターン 1~40: CTのターン数を100で割った値	8	2	
93	CT2電力線貫通回数	0: 1回 1~6: 回数	1	2	



① 取扱い上の注意

計器情報バンクのROMバージョン1(φ02)が「2.04」以前の場合、「CT1ターン数」、「CT1電力線貫通回数」、「CT2ターン数」、「CT2電力線貫通回数」の項目は表示しません。

④制御周期 → 「時間比例単位0.5秒」 [Para] 2秒 x1回 → [Para]数回

第6章 表示・設定データ一覧表

■ パラメータバンク  
バンク選択: **PRR**

表示	項目	内容	初期値	表示レベル	備考
<b>Ctrl</b>	制御方式	0: ON/OFF制御 1: PID固定 2: ST(セルフチューニング)	0、 または 1	0	初期値は、制御出力1がリレー出力の場合は0、それ以外の場合は1
<b>AtL</b>	AT時操作量下限	-10.0~+110.0%	0.0	0	制御方式がON/OFF制御以外(Ctrl≠0)の場合、表示
<b>AtH</b>	AT時操作量上限	-10.0~+110.0%	100.0	0	
<b>dFF</b>	ON/OFF制御ディファレンシャル	0~9999U	5	0	制御方式がON/OFF制御(Ctrl=0)の場合、表示
<b>oFFs</b>	ON/OFF制御動作点オフセット	-1999~+9999U	0	2	
<b>Fl</b>	PVフィルタ	0.0~120.0s	0.0	0	
<b>rR</b>	PVレシオ	0.001~9.999	1.000	1	
<b>bI</b>	PVバイアス	-1999~+9999U	0	0	
<b>LYU</b>	時間比例単位1	0: 1s単位 1: 0.5s固定 (サイクルタイム設定不可) 2: 0.2s固定 (サイクルタイム設定不可) 3: 0.1s固定 (サイクルタイム設定不可)	0	2	LYの表示条件に加えて出力にリレーが含まれていない場合表示
<b>LY</b>	時間比例周期1	5~120s(出力にリレー出力を含む場合) 1~120s(出力にリレー出力を含まない場合)	10、 または 2	0	DO割付でMV1(時間比例出力、加熱冷却制御の加熱側時間比例出力)がリレー制御出力、電圧パルス制御出力、イベント出力のどれかに接続してある場合、表示 時間比例周期1の初期値は、制御出力1がリレー出力の場合は10、それ以外の場合は2
<b>LYU2</b>	時間比例単位2	0: 1s単位 1: 0.5s固定 (サイクルタイム設定不可) 2: 0.2s固定 (サイクルタイム設定不可) 3: 0.1s固定 (サイクルタイム設定不可)	0	2	LY2の表示条件に加えて出力にリレーが含まれていない場合表示
<b>LY2</b>	時間比例周期2	5~120s(出力にリレー出力を含む場合) 1~120s(出力にリレー出力を含まない場合)	10、 または 2	0	加熱冷却制御を使用し(C26=1)、かつDO割付でMV2(加熱冷却制御の冷却側時間比例出力)がリレー制御出力、電圧パルス制御出力、イベント出力のどれかに接続してある場合、表示 時間比例周期2の初期値は、制御出力1点のモデルの場合は10、それ以外の場合は2



■ 動作種類

内部接点機能による動作種類を設定できます。

項目(設定表示/バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部接点1 動作種類 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 11	0~20 各設定値による機能は下表をご覧ください	7	簡単、 標準、 多機能
内部接点2 動作種類 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 21		0	
内部接点3 動作種類 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 31		0	

① 取扱い上の注意

- ・「1~3:LSP組選択」は、内部接点がONとなっている重み付け(+1、+2、+4)の総和に、さらに1を加えた値がLSP組番号になります。
- ・「14:PV値ホールド」、「15:PV最大値ホールド」、「16:PV最小値ホールド」は混在して使わないでください。
- ・「0:機能なし」、「1~3:LSP組選択」以外の動作種類は、同じ動作種類を複数の内部接点に設定しないでください。
- ・加熱冷却制御を使う場合、「12:制御動作正逆切り替え」を使わないでください。
- ・タイマ停止/起動の場合、対象となる内部イベント番号は「内部接点内部イベント番号指定」で設定します。

diの設定内容は、次の表によります。

設定値	機能	OFF時の動作	ON時の動作
0	機能なし	なし	なし
1	LSP組選択(0/+1)	LSP番号: +0	LSP番号: +1
2	LSP組選択(0/+2)	LSP番号: +0	LSP番号: +2
3	LSP組選択(0/+4)	無効	無効
4	PID組選択(0/+1)	無効	無効
5	PID組選択(0/+2)	無効	無効
6	PID組選択(0/+4)	無効	無効
7	RUN/READYモード切り替え	RUN	READY
8	AUTO/MANUALモード切り替え	AUTO	MANUAL
9	LSP/RSPモード切り替え	無効	無効
10	AT(オートチューニング)停止/起動	AT停止	AT起動
11	ST(セルフチューニング)禁止/許可	ST禁止	ST許可
12	制御動作正逆切り替え	設定どおり	設定の反対
13	SPランプ許可/禁止	SPランプ許可	SPランプ禁止
14	PV値ホールド	ホールドせず	ホールドする
15	PV値最大値ホールド	ホールドせず	ホールドする
16	PV値最小値ホールド	ホールドせず	ホールドする
17	タイマ停止/起動	タイマ停止	タイマ起動
18	全DOラッチ解除	ラッチがあれば継続	ラッチ解除
19	アドバンス操作	無効	無効
20	ステップホールド	無効	無効

第5章 各機能の詳細

■ 内部イベント番号指定

動作種類がタイマ停止/起動の場合、対象となる内部イベント番号を設定できます。

項目(設定表示/バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部接点1 内部イベント番号指定 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 19	0:すべての内部イベント 1~5:内部イベント番号	0	多機能
内部接点2 内部イベント番号指定 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 29		0	
内部接点3 内部イベント番号指定 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 39		0	

・同じ内部接点番号の動作種類がタイマ停止/起動に設定してある場合、表示・設定ができます。

■ 入力ビット演算

入力ビット演算は、4種類あります。4種類の演算のどれを使用するか、あるいは使用しないかを設定できます。

項目(設定表示/バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部接点1 入力ビット演算 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 12	0:使用しない(デフォルトの入力) 1:演算1 (A and B) or (C and D) 2:演算2 (A or B) and (C or D) 3:演算3 (A or B or C or D) 4:演算4 (A and B and C and D)	0	多機能
内部接点2 入力ビット演算 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 22		0	
内部接点3 入力ビット演算 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 32		0	

・設定値を0とした場合、入力ビット演算を使用せず、デフォルトの入力を使用します。デフォルトの入力は各内部接点で次のようになっています。

- 内部接点1: DI(デジタル入力)1
- 内部接点2: DI(デジタル入力)2
- 内部接点3: OFF状態

・入力ビット演算は、内部接点1~3の各内部接点ごとに論理演算(and、or)の組み合わせを行います。演算1~演算4は、論理演算の組み合わせが違います。ひとつの論理演算は次のようになっています。

And演算	or演算
OFF and OFF = OFF	OFF or OFF = OFF
ON and OFF = OFF	ON or OFF = ON
ON and ON = ON	ON or ON = ON

- ・OFFは、接点开(OFFEN)、または数値0で表すことがあります。
- ・ONは、接点閉(CLOSE)、または数値1で表すことがあります。

⑦入力信号割り付け「入力割付A←DI1,B←DI2」 [Para] 2秒 x2回 → [Para]数回

■ 入力割り付け

入力ビット演算に使用する4つの入力(A、B、C、D)の割り付けを設定できます。



項目(設定表示バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部接点1 入力割り付けA (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 13	0: 常に開(OFF、0) 1: 常に閉(ON、1) 2: DI1 3: DI2	2	多機能
内部接点1 入力割り付けB (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 14	4~9: 未定義 10: 内部イベント1 11: 内部イベント2 12: 内部イベント3	0	3
内部接点1 入力割り付けC (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 15	13: 内部イベント4 14: 内部イベント5 15~17: 未定義 18: 通信DI1	0	
内部接点1 入力割り付けD (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 16	19: 通信DI2 20: 通信DI3 21: 通信DI4 22: MANUALモード	0	
内部接点2 入力割り付けA (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 23	23: READYモード 24: 未定義 25: AT起動中 26: SPランプ中	3	
内部接点2 入力割り付けB (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 24	27: 未定義 28: アラームあり 29: PVアラームあり 30: 未定義	0	
内部接点2 入力割り付けC (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 25	31: modeキー押し状態 32: イベント出力1状態 33: 制御出力1状態	0	
内部接点2 入力割り付けD (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 26		0	
内部接点3 入力割り付けA (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 33		4	
内部接点3 入力割り付けB (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 34		0	
内部接点3 入力割り付けC (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 35		0	
内部接点3 入力割り付けD (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 36		0	

・同じ内部接点番号の入力ビット演算が演算1~4に設定してある場合、表示・設定ができます。

## 第5章 各機能の詳細

## ■ 入力割り付けの反転

入力ビット演算に使用する4つの入力(A、B、C、D)の割り付けの反転を設定できます。

項目(設定表示/バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部接点1 反転A~D (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 17	右側から1桁目、2桁目、3桁目、4桁目と呼ぶ。 1桁目：入力割り付けAの反転の設定 2桁目：入力割り付けBの反転の設定 3桁目：入力割り付けCの反転の設定 4桁目：入力割り付けDの反転の設定	0000	多機能
内部接点2 反転A~D (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 27		0000	
内部接点3 反転A~D (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 37	0：反転しない 1：反転する	0000	

・同じ内部接点番号の入力ビット演算が演算1~4に設定してある場合、表示・設定ができます。

## ■ 演算の反転

入力ビット演算(演算1~4)の後の反転を設定できます。

項目(設定表示/バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部接点1 反転 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 1B	0：反転しない 1：反転する	0	多機能
内部接点2 反転 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 2B		0	
内部接点3 反転 (セットアップ設定/ DI割り付けバンク)	di 3B		0	



## オプション設定「断線・過電流検出」1

### ⑨イベント1設定「断線検出」

[Para] 2秒 x2回 → [Para]数回

第5章 各機能の詳細

#### ■ 動作種類

内部イベントの動作種類を設定できます。

項目(設定表示/バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部イベント1 コンフ1 動作種類 (セットアップ設定/ イベントコンフバンク)	E1E1	0: イベントなし	0	簡単、 標準、 多機能
		1: PV上限	16	
		2: PV下限		
		3: PV上下限		
		4: 偏差上限		
内部イベント2 コンフ1 動作種類 (セットアップ設定/ イベントコンフバンク)	E2E1	5: 偏差下限	0	
		6: 偏差上下限		
		7: 偏差上限		
内部イベント3 コンフ1 動作種類 (セットアップ設定/ イベントコンフバンク)	E3E1	(最終SP基準)	0	
		8: 偏差下限		
		(最終SP基準)		
内部イベント4 コンフ1 動作種類 (セットアップ設定/ イベントコンフバンク)	E4E1	(最終SP基準)	0	
		10: SP上限		
		11: SP下限		
内部イベント5 コンフ1 動作種類 (セットアップ設定/ イベントコンフバンク)	E5E1	12: SP上下限	0	
		13: MV上限		
		14: MV下限		
		15: MV上下限		
		16: CT1ヒータ断線/過電流		
		17: CT1ヒータ短絡		
		18: CT2ヒータ断線/過電流		
		19: CT2ヒータ短絡		
		20: ループ診断1		
		21: ループ診断2		
		22: ループ診断3		
		23: アラーム(状態)		
		24: READY(状態)		
25: MANUAL(状態)				
26: 無効				
27: AT起動中(状態)				
28: SPランプ中(状態)				
29: 制御正動作(状態)				
30: ST起動中(状態)				
31: 無効				
32: タイマ(状態)				
33: MFB(モータフィードバック)値上下限 (本器では無効)				

第5章 各機能の詳細

■ 主設定・副設定・ヒステリシス

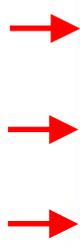
動作種類に付随する主設定・副設定・ヒステリシスを設定できます。

項目(設定表示/バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部イベント1 主設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E1	-1999~+9999 小数点位置は動作種類に合うように変わります 一部の動作種類では0~9999となります	0	簡単、標準、 設定
内部イベント1 副設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E15b	-1999~+9999 小数点位置は動作種類に合うように変わります 一部の動作種類では0~9999となります	0	
内部イベント1 ヒステリシス (パラメータ設定/ イベントバンク)	E1HY	0~9999 小数点位置は動作種類に合うように変わります	5	
内部イベント2 主設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E2	内部イベント1 主設定と同じ	0	
内部イベント2 副設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E25b	内部イベント1 副設定と同じ	0	
内部イベント2 ヒステリシス (パラメータ設定/ イベントバンク)	E2HY	内部イベント1 ヒステリシスと同じ	5	
内部イベント3 主設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E3	内部イベント1 主設定と同じ	0	
内部イベント3 副設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E35b	内部イベント1 副設定と同じ	0	
内部イベント3 ヒステリシス (パラメータ設定/ イベントバンク)	E3HY	内部イベント1 ヒステリシスと同じ	5	
内部イベント4 主設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E4	内部イベント1 主設定と同じ	0	
内部イベント4 副設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E45b	内部イベント1 副設定と同じ	0	
内部イベント4 ヒステリシス (パラメータ設定/ イベントバンク)	E4HY	内部イベント1 ヒステリシスと同じ	5	
内部イベント5 主設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E5	内部イベント1 主設定と同じ	0	
内部イベント5 副設定 (パラメータ設定/ イベントバンク)	E55b	内部イベント1 副設定と同じ	0	
内部イベント5 ヒステリシス (パラメータ設定/ イベントバンク)	E5HY	内部イベント1 ヒステリシスと同じ	5	

断線検出電流値 \* 1

過電流検出値 \* 2

ヒータ定格電流の10%程度



- \* 1 ここで設定した電流値以下になるとイベント1がONになる。ヒータ定格電流値の50~70% 使用ヒータが不明の場合は[0.5]。
- \* 2 ここで設定した電流値以上でイベント1がONになる。ヒータ定格電流値の130~150%で コントローラの定格値以下。使用ヒータが不明な場合はコントローラの定格値。

- ・内部イベント コンフ1 動作種類が「0:イベントなし」の場合、内部イベント 主設定・副設定・ヒステリシスを表示しません。
- ・主設定・副設定・ヒステリシスによる内部イベント動作は、  
 [内部イベント動作一覧 \(5-39ページ～5-41ページ\)](#) をご覧ください。

■ ONディレイ・OFFディレイ

ONディレイは、内部イベント状態がOFFからONに変化するのを遅らせる機能です。  
 OFFディレイは、内部イベント状態がONからOFFに変化するのを遅らせる機能です。  
 ただし、動作種類が「20:ループ診断1」、「21:ループ診断2」、「22:ループ診断3」、「32:タイマ」の場合は、別の機能として動作します。  
 [内部イベント動作一覧 \(5-39ページ～5-41ページ\)](#) をご覧ください。

ONディレイ・OFFディレイを設定できます。

項目(設定表示バンク)	表示	内容	初期値	表示レベル
内部イベント1 ONディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E1on	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s <b>2.0</b>	多機能
内部イベント1 OFFディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E1of	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s	
内部イベント2 ONディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E2on	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s	
内部イベント2 OFFディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E2of	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s	
内部イベント3 ONディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E3on	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s	
内部イベント3 OFFディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E3of	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s	
内部イベント4 ONディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E4on	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s	
内部イベント4 OFFディレイ (パラメータ設定/ イベントバンク)	E4of	0.0～999.9s(ディレイ時間単位0.1sの場合) 0～9999s(ディレイ時間単位0.1s以外の場合)	0.0s または0s	

